

競技上の注意と確認事項

大会「実施要項」に記載されていた内容からの変更点があります。九州ハンドボール協会と長崎県ハンドボール協会が協議し作成した、この発出文書が最終決定版となります。

1 競技規則

本大会は、令和4年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則によって行う。

2 競技会場

(1) 競技会場・コートの広さは、以下のとおりとする。

○佐世保市体育文化館 (39m×20m) 2面

○佐世保市東部スポーツ広場体育館(36m×20m) 2面

(2) 別紙「感染拡大防止ガイドライン」「会場使用上の注意」等を遵守して使用する。

3 種別及び参加人数

参加人数は、チーム役員4名以内・選手16名以内の合計20名以内とする。

4 競技方法

競技方法は、各ブロックの代表チームによる予選リーグおよび順位決定トーナメント方式とする。

(不参加が生じるブロックの代表枠については、開催ブロックで補充する。)

5 参加資格

参加資格は、実施要項「8-(1)(2)」のとおりとする。

臨時トレーナーについては、別に定める。※競技上の注意「17」参照

6 競技日程・時間

(1) 競技日程は、プログラムのとおりとする。

(2) 競技時間は、「前半25分-休憩10分-後半25分」とする。

○予選リーグで同点の場合は、「引き分け」とする。

予選リーグの勝点は、「勝ち3点、引き分け1点、負け0点」とする。

○順位決定戦で同点の場合は、延長戦を行わず、7mスローコンテスト(5名)を行う。

【トス～第1延長(前半5分-休憩1分-後半5分)～7mスローコンテスト(5名)】

○決勝トーナメント(準決勝)で同点の場合は、下記の通りに延長戦を行う。

【トス～第1延長(前半5分-休憩1分-後半5分)～7mスローコンテスト(5名)】

○決勝・3位決定戦で同点の場合は、下記の通りに正規の延長戦を行う。

【トス～第1延長～第2延長～7mスローコンテスト(5名)】

○女子の交流戦は25分のハーフゲームとする。交流戦は延長戦を行わず、同点の場合は「引き分け」とする。

(3) 競技時間は、加算式の電光表示板(卓上用)を使用し表示する。

(4) 競技終了やチームタイムアウトの合図は、ブザー・ホーン、または笛で行う。

(5) ①退場者の番号と入場時間は、「記録席上に用紙で表示」する。

②入場の判断は、チームの責任である。記録席から合図することはなく、問いかけられても回答しない。

7 大会使用球

大会使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。

モルテン・・・男子3号球、女子2号球(ヌエバX5000)

8 トス・ユニホーム

- (1) トスは、ユニホーム確認の際に記録席前で行う。立ち合いは、チーム役員・選手のいずれでもよい。その際、チーム役員の服装(色)及び臨時トレーナーの有無についても確認する。※11(5)、17(1)
- (2) 第1試合のユニホームの確認は、試合開始30分前に記録席前で行い、その後は前試合のハーフタイムで行う。確認の際には、試合に着用する全ての種類のユニホームを持参する。

希望の調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更する。

- (3) ユニホームについては、下記の通りとする。条件に満たない場合は、当て布等で覆わなければならない。

その色はユニホームと同色でなくてもよいが、チーム全員が同色とし、同じデザインにする。

- ① 番号の大きさ(高さ)は、胸10cm以上・背20cm以上とする。
- ② メーカーのロゴは、20cm²以内の目立たないものとする。サポーター等も同様とする。
- ③ 背中に氏名等の文字表記をする場合は、大きさ(高さ)10cm以内とする。
- ④ 試合中にユニホームが破損したり、血液が付着したりして競技を続行できない時は、別のユニホームに着替えなければならない。その場合は、異なる番号でも良い。
- ⑤ チームは、ユニホームとして「シャツ・パンツ・ソックス」の色をそれぞれ統一すること。
ソックスは、色が揃っていればよく、メーカーのロゴは問わない。

(4) ゴールキーパー

- ① チームで同色とする。
- ② コートプレイヤーがゴールキーパーに代わる場合は、登録された同じ番号でなければならない。
併せて、登録されたゴールキーパーと同色のユニホームを着用することは許される。

(5) 身につけられるものについて

- ① 短パンツの下に着用するサイクリングパンツやウォームパンツ(アンダーウェア)は、短パンツの基調色か、同色とし、チームで統一していれば着用できる。
- ② ユニホームの外にアンダーウェアが出る場合があっても、立っている状態で見えなければ正さなくてよい。
- ③ 長袖のアンダーシャツ・アーム(ロング)スリーブ等は、ユニホームに使用されている基調色と同色であれば着用できる。
- ④ ふくらはぎのコンプレッション(加圧)サポーターは、靴下と同色であれば着用できる。
- ⑤ 複数の部位を覆うサポーター等やメーカーのロゴが20cm²以上ものは着用を認められない。
- ⑥ 金具入り等、敵味方を問わず他の選手に危害を与えるものについては、その着用を認めない。
- ⑦ 眼鏡及びスポーツゴーグル等を使用する際には、固定バンドの装着を必要とする。
ただし、金属製のフレーム等については使用できない。
- ⑧ 詳細は、「JHA保護を目的とした装具」を参照すること。

(6) 眼鏡・スポーツゴーグル

眼鏡及びスポーツゴーグルを使用する際は、固定バンドの装着を必要とする。

ただし、金属製のフレーム等については使用できない。

9 登録証・公認資格証とチーム役員・選手の確認

- (1) 事前に所定の手続きを完了した登録証のあるチーム役員・選手のみが競技に参加・出場することできる。
- (2) 交代地域には、チーム責任者1名、チーム役員3名以内、選手16名以内の合計20名以内が入ることができる。
- (3) **チーム役員・選手の変更については、6月29日(水)17時までに変更申請が完了したことで決定する。**

変更申請が完了した内容については、6月30日(木)各チームにメールで配信周知する。移動中やホテル等でも受信できるよう通信環境を確認しておく。

(4) ①トスの際には、TDに登録証を提出する。

提出不可、または不備(写真添付なし等)があった場合は、試合に出場・参加することはできない。

②審判員が、試合前に交代地域にてチーム役員・選手及び登録証を確認する。

試合中は、TDが登録証を管理し、試合終了後にTDから両チーム代表者に返却される。

③失格したチーム役員・選手、または、裁定委員会に提訴されるチーム役員・選手には、その場で返却しない。

(5) チーム役員は、試合中に大会主催者が準備した「A・B・C・Dカード」を着用し、試合終了後に返却する。

チーム責任者は、「Aカード」を着用する。

10 公式記録用紙

(1) 記録は、公式記録用紙を使用し、ランニングスコア用紙には記載しない。

(2) チーム責任者は、試合開始前に公式記録用紙に記載されている「役員氏名・カード、選手氏名・背番号」を責任を持って確認し、サインをする。

(3) 公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

11 交代地域 ☆交代地域:「3.5mラインを始点とし、センターラインから12mの範囲まで」

(1) 各チームのボール等の用具類は、競技開始前にケース等に収納して交代地域内にて管理する。

競技開始後は、ボールに触れることを含めてボールの使用を禁止する。

(2) 飲料水は、飲み口の細い「個人の容器」を使用し、コップの使用を禁止する。

感染予防対策として、ペットボトルを用いたチーム内の回し飲みも禁止する。

(3) 交代地域では、通信機器の使用を認める。

詳細は、JHAホームページ「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」を参照する。

(4) 試合中、選手が交代地域内で簡単な準備運動をすることは認める。

ただし、両体育館ともに、交代地域(ベンチ)の後方に十分なスペースがないので、交代地域外(ベンチの終端からコーナーまで)を使用することを認める。なお、ボールの使用やコート内への指示・応援、立位静止のまま観戦することは不可とする。

(5) チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーと異色の服装でなければならない。

トスの際にユニホームの色が確定した後に、役員・選手の服装の色を確認する。

(6) チーム役員は、原則として座っていなければならない。

ただし、チーム役員1名のみが、戦術的な指示や治療を目的として、交代地域の範囲内で動くことは許される。

12 チームタイムアウト

(1) チームタイムアウトは、1試合で3回請求することができ、前後半にそれぞれ最高で2回まで請求することができる。

また、試合の後半残り5分間は1回しか請求できず、延長戦は請求できない。(女子交流戦は、1回のみ)

(2) チームタイムアウト請求カード(グリーンカード)は、チーム役員だけが提出することができる。

請求する場合は、記録席まで持参する。提出するために、コーチングエリア(3.5m)を越えたらグリーンカードを提出しなければならない、躊躇することは許されない。

ただし、請求および受け取りと判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない時があるので、その場合は、グリーンカードをチームに戻す。

(3) グリーンカードは、常にベンチに置いておかなければならない。請求する時のみ、持つことが許される。

(4) グリーンカードは、TDが直接受け取ってよい。

13 休憩時間(ハーフタイム)

(1) 前半が終了した直後に、競技役員や競技補助員が、ベンチ(椅子)を消毒する。後半に向けてコートを移動する際には、消毒作業が終了するまでベンチ外で待機する。試合終了後にも同様に消毒を行うので、感染予防対策を施した「新しい大会の運営」に全チームが相互協力する。

- (2) 休憩時間のコート使用は、次試合のチームが練習のため使用する。ただし、アップチームは感染症対策を万全に行い、試合中のチームに話しかけたり、不用意に接触したりしない。

コートの使用時間は「9分」とし、後半開始までの残りの1分間は、コート整備等の時間とする。

※タイマーは「9分の減算表示」とし、9分のブザー合図で速やかにコートアウトする。

14 マッチオフィシャル(MO)・テクニカルデレゲート(TD)、裁定委員会

- (1) 本大会は、テクニカルオフィシャルを配置する。

競技第1日は、テクニカルオフィシャル2名(MO兼TK:タイムキーパーを担当するTD、及びSK:スコアキーパーを担当するTD)で対応する。

競技第2日は、男女「決勝トーナメント」のみ、テクニカルオフィシャル3名(MO1名、およびTD2名)を配置する。

MO・TDは、競技委員長のもとで、競技役員として各試合に立ち会い、各試合を円滑に運営するため、審判員・全競技役員・補助員と協力して試合を管理する責任者である。

- (2) 本大会に裁定委員会を設置する。委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長などとする。

なお、必要に応じて関係者を同席させることがある。裁定しなければならない事案が生じた場合は、当日中に裁定して関係者に通知する。

15 負傷者カード

- (1) コート上で治療を受けたプレーヤーは、速やかにコートから出なければならない。

その後、そのプレーヤーは自チームが3回の攻撃を終了するまでコートに戻ることはできない。

これを表示するために、負傷者カードを記録席に表示する。

3回の攻撃が終了し、コートへ戻ることが可能になったら、このカードを取り除く。

- (2) 延長戦を含めて前半・後半が終了したら、3回の攻撃回数が終わっていても、次の開始時点からコートに入場できる。

16 次の試合のチーム役員・選手フロアへの入場

次試合のチーム役員・選手は、前試合が終了後に両チームの挨拶、ベンチの消毒作業が終了するまで、フロアへの入場を禁止する。試合後、チーム(選手)の入れ替えについては、放送でも通告する。

競技中に次試合の役員・選手が、フロアで練習をしたり、試合を観戦したりすることがあってはならない。

17 臨時トレーナー

- (1) 臨時トレーナーとは、役員登録をしていない公的資格を有するトレーナーを指す。

トスの際には、必ずTDに申告する。席は、交代地域から離れた場所に設置する。

- (2) 臨時トレーナーは、交代地域やコート内に立ち入ることや応援・指示はできず、自席での対応のみとする。

選手は、一時的に交代地域から許可なく離れ、臨時トレーナー席で治療等を受けることができる。

- (3) TDが、試合開始前にトレーナーである資格証の提示を求める場合があるので準備しておく。

18 表彰

競技2日目に各会場で最終試合(決勝・3位決定戦)終了後に、表彰を行う。

最終試合のチーム(男女各4チーム)は、試合終了後に所定の場所に整列する。

19 感染症対策

- (1) 別紙「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を参照し、大会期間中は、うがい・手洗い等、健康に十分配慮する。コート以外での施設内では、必ずマスクを着用する。また、施設内だけでなく、ホテル・旅館等でも消毒や検温ができる準備を各チーム・各自で行う。

- (2) 自己管理・感染症予防のためにホテル滞在中は、各室でも個人的に感染予防に積極的に取り組む。

大会前から練習中はもとより、生活全般で体調管理に留意する。

- (3) 競技中(試合中)、チーム役員は、必ずマスクを着用する。ベンチで待機する選手は、攻防で常に交代する選手を除き、可能な限りマスクを着用する。
- (4) 大会前1週間(6月24日以降)にチーム関係者が発熱した場合は、大会本部に連絡する。
- (5) 万一の事態に備えて、「抗原検査キット」を各チームで準備することが望ましい。
- (6) 感染症対策の責任者は、チーム役員となる。移動行程や会場での感染症対策の他、チーム関係者から発熱者や体調不良者が出た場合は、責任者の管理下でホテル待機、医療機関、検査機関の受診等の業務に対応する。

20 危機管理

各チーム・各個人で危機管理意識を高く持ち、各種の緊急事態に備える。

21 試合の開始と終了

開始時は、選手全員が交代地域から横1列で入場して、あいさつをする。

試合終了時は、コート中央に横1列で並んであいさつをし、その後、相手チームと交差しながら挨拶を交わすことはしない。相手選手とタッチ・握手も行わず、相手側交代地域での役員へのあいさつもしない。

22 観客席

- (1) 今大会は、スポーツ競技活動を通じた社会活動の一場面でもある。各チームの役員は、「競技上の注意」「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」「会場使用上の注意」などを選手たちに徹底させる。
- (2) 今大会は、「観客の入場制限」(エントリー数×2名)で開催するので、部外者の入館入場を認めない。
- (3) 入館入場の際には、開催(長崎)県が指定する各書類(「健康チェックシート」など)を提出する。
- (4) 入館は「試合開始1時間30分前」、退館は「試合終了30分後」とする。チーム関係者は、一斉入館・一斉退館を原則とし、観戦や試合撮影を目的として、個別に入館したり、観客席に残留したりしない。
ただし、1日2試合をするチームがあるので、その際は体育館内での残留を認める。
- (5) 競技終了後、観客席を退席(退館)する際には、チームで使用した椅子・手すり等を消毒する。消毒液・ペーパータオルなどは各チームで準備する。感染予防対策を施した「新しい大会の運営」に全チームが相互協力する。

23 申込チームの欠場(辞退)の場合

- (1) 欠場(辞退)による代替出場は行わない。
- (2) 欠場(辞退)チームの大会参加記録は、「参加」として記録し、連続出場や通算出場の記録は継続する。
- (3) 試合記録は、欠場(辞退)のチームの不戦敗とし、スコアは0-16とする。
- (4) 競技日程・試合開始時刻などは、原則として変更しない。

24 大会期間中に発熱者が出場

- (1) 発熱・咳・咽頭痛などの症状を訴える役員・選手を確認した場合は、速やかに帰宅させるかホテルに待機させ、持参した「抗原検査キットで検査」を行い、医療機関・発熱外来などに相談する。
- (2) 上記(1)を訴えた役員・選手からの聴取により、対面して食事をしたり、ホテルで同部屋だったりする等の接触があった者についても、その後の諸活動を中断させ、速やかに帰宅させるかホテルに待機させ、医療機関・発熱外来などに相談する。
- (3) 上記(1)(2)により、現地や帰宅後に医療機関を受診した場合、即座にPCR検査の結果が出ないことが想定される。発熱者に対してチームが持参した抗原検査キットで「陽性反応」が出た場合、チーム内外に濃厚接触者が多く特定される可能性がある場合などは、チームとして、その後の参加(競技)を見合わせる。その際、発熱者だけが抗原検査を行うのではなく、関係者全員が抗原検査を行うことが望ましい。

25 大会期間中の集団飲食について

- (1) 競技会場内での昼食・間食などは、チーム内であってもソーシャルディスタンスを保ちながら、会話を控え、対面飲食を回避するなど、感染症防止対策に十分配慮する。(黙食の推奨)

- (2) 宿泊時の夕食や朝食など、チームで飲食をする場合は、施設や店舗と事前相談の上、少人数・分散で飲食するなど工夫し、多人数・長時間の飲食にならないように十分配慮する。

26 新競技規則変更の適用について

- (1) 今大会は、「ボールがゴールキーパーの頭部へ直撃した際の罰則」について適用する。
- (2) (1)の詳細は、JHAホームページ「2022新競技規則 変更の概要(2022年7月1日 IHF 施行)」ならびに「2022(令和4)年度 競技規則変更についての質疑に対する回答(第一次)」を参照すること。

27 予選リーグ戦から順位決定戦への進出方法

(1) 予選リーグ内の順位決定方法

- 1) リーグ内の「勝ち点上位」(勝ち3点, 引き分け1点, 負け0点)
- 2) 対戦間成績
- 3) リーグ内の「得失点差上位」
- 4) リーグ内の「得点上位」
- 5) 「抽選」

(2) 順位決定戦に進出するチームの順位決定方法

- 1) リーグ内の「勝ち点上位」(勝ち3点, 引き分け1点, 負け0点)
- 2) 対戦間成績
- 3) リーグ内の「得失点差上位」
- 4) リーグ内の「得点上位」
- 5) 「抽選」

(3) 予選リーグ2位の中から順位決定戦に進出するチームの決定方法(女子ワイルドカード)

- 1) リーグ内の「勝ち点上位」(勝ち3点, 引き分け1点, 負け0点)
- 2) リーグ内の「得失点差上位」
- 3) リーグ内の「得点上位」
- 4) 「抽選」

※決勝トーナメントの1回戦(準決勝)で、予選同リーグのチームと対戦となった場合は、対戦カードを下記の通り入れ替えて実施する。

○各パート1位の1位 VS 各パート1位の3位

○各パート2位の1位(ワイルドカード) VS 各パート1位の2位